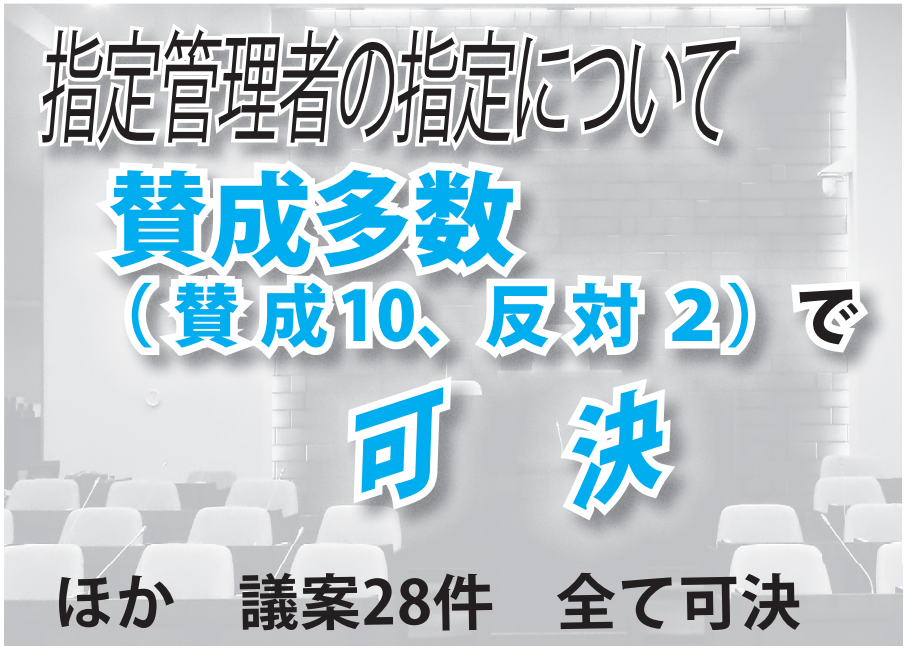
3月定例会の概要

令和７年第２回定例会は、３月12日から24日までの13日間の会期で開かれました。



令和７年第２回清水町議会定例会は、３月12日から24日までの13日間の会期で開催されました。

初日（３月12日）は、辻新町長による所信表明が行われた後、新設条例の委員会付託、令和７年度予算及び関連条例が「予算審査特別委員会」へ付託されました。専決処分、指定管理者の指定、令和６年度一般会計以下６会計の補正予算の審議を行い全て可決しました。

指定管理者の指定については、社会体育施設（体育館、体育館前パークゴルフ場など６施設）の指定管理者をこれまでの「清水町体育協会」から「ソルプレーサ・イノベーションズ」へ変更する内容のものでした。

３名の議員が「選定委員会における経過」、「これまでの実績の評価や指定管理者への指導など」「管理者の変更によるメリットとデメリット」「今後の体育協会に対する関わり」などについて、質疑を行いました。

議長を除く12名による起立採決の結果「賛成10」「反対２」で可決されました。

２日目、３日目（３月17・18日）は、一般質問が行われ、８人が17項目にわたって町政について質問しました。

３月19日は令和７年度予算審査特別委員会（深沼達生委員長）が行われ、一般会計以下６会計の歳入歳出予算及び関連条例の審査を行い、全て原案のとおり可決しました。

最終日（24日）は、新設条例、予算案、その他の条例案、議員提出条例案、補正予算、人事案件、意見書について全て可決し閉会しました。

今回の議会には請願１件が提出され、総務産業常任委員会で審査・採択し、３ページのとおり意見書を提出しました。

３月定例会の流れ

本会議 01 **初日（3/12）**
所信表明、新設条例（総務産業常任委員会付託）、新年度予算案及び関連条例（予算審査特別委員会付託）、専決処分の報告及び承認、指定管理者の指定、補正予算（令和６年度）、請願（総務産業常任委員会に付託）

委員会 02 **予算審査特別委員会**
総務産業常任委員会
厚生文教常任委員会

本会議 03 **２日目・３日目（3/17・18）**
一般質問　８名 17項目
（関連記事 ８ページから15ページ）
請願審査報告⇒採択

委員会 04 **４日目（3/19）**
予算審査特別委員会審査
・一般会計以下６会計
・関連条例　2件

本会議 05 **最終日（3/24）**
委員会審査報告・採決（新設条例）
予算審査特別委員会報告・採決
条例改正・補正予算、人事案件、意見案ほか

詳しい審議内容は、３ページから６ページをご覧ください。

令和７年度一般会計予算

原案どおり可決
全員賛成

（万円）

会計区分		令和7年度予算額	令和6年度予算額	前年度比 金額	前年度比 比率
一般会計		85億8,900	86億6,800	▲7,900	▲0.9%
特別会計	国民健康保険	12億8,850	12億7,900	950	0.7%
	後期高齢者医療保険	2億1,630	2億1,100	530	2.5%
	介護保険	12億3,230	12億　750	2,480	2.1%
	水道事業	5億3,270	4億5,510	7,760	17.1%
	下水道事業	5億2,030	6億2,360	▲1億 330	▲16.6%
６会計予算合計		123億7,910	124億4,420	▲6,510	▲0.5%

〇詳しくは、広報しみず４月号をご覧ください ⇘

令和7年度一般会計ほか3会計補正予算

令和7度当初予算は骨格編成のため、３月24日当初予算成立後、直ちに一般会計、国民健康保険特別会計、水道事業会計の３会計の補正予算が追加提案されました。

主に令和６年度まで実施されていた継続事業で4月以降すぐに対応が必要なものや施設の改修工事費であり、全員賛成で可決されました。

一般会計の主な事業内容（100万円以上）は以下のとおりです。**※青文字は新規事業です。**

◇議案第29号
令和７年度清水町一般会計補正予算（第１号）
3億5,643万8千円を追加し、予算総額を89億4,543万8千円とする。
［主な増額歳出予算の内容］

◎総務費
- 廃屋解体撤去事業補助金　5,400千円増
- 簡易宿泊・民泊サイト等利用手数料給付金　1,481千円増
- 結婚新生活支援事業補助金　1,800千円増
- 植樹用苗木購入費用ほか　4,345千円増

◎民生費
- 高齢者タクシー乗車券助成ほか　13,058千円増
- 老人福祉センター屋上改修工事　32,802千円増
- 世代間交流センター教養娯楽室エアコン設置工事　10,362千円増
- 乳幼児等医療費　22,750千円増
- 出産祝金ほか　11,500千円増
- ２号職員給与・手当・共済費、地域おこし協力隊員住宅借上料ほか　10,367千円増

◎衛生費
- 予防接種委託料ほか　4,942千円増
- 健康ポイント事業報償ほか 1,024千円増
- 妊婦検診助成、不妊・不育症治療助成　1,900千円増
- 水道事業支出金　5,965千円増
- 井戸水利用者支援金ほか　5,093千円増

物価高騰対策として水道基本料金６か月分を免除（井戸水利用者は相当額支給）

◎農林業費
- 担い手コーディネーター報酬ほか　1,584千円増
- ２号職員給料・手当・共済費、地域おこし協力隊員住宅借上料、酪農人材確保策事業補助金ほか　12,644千円増
- 牧場管理用車両購入費　7,260千円増

◎商工費
- 中小企業近代化資金利子補給等補助金　3,045千円増
- 清水町起業等スタートアップ支援事業補助金　11,400千円増

◎教育費
- 選手等派遣費、修学旅行費助成事業報償費、英語検定料助成事業報償、高校生タブレット等購入報償　25,446千円増
- 教育支援センター業務委託料ほか　1,969千円増

新たに「教育支援センター」を開設し、学校へ通えない児童・生徒の居場所や学びの場を確保

- ２号職員給与・手当・共済費、学校備品購入費　6,835千円増

中学校に少人数学級（35人学級）を導入するため、町採用臨時教諭を採用

- 第九文化継承事業報償　4,000千円増
- 御影公民館ボイラー更新工事16,379千円増
- 社会体育奨励事業報償　1,000千円増
- アイスアリーナ事務所棟屋根改修工事　9,601千円増
- アイスアリーナ照明ＬＥＤ化工事　59,081千円増

請願・陳情審査の結果と意見書の提出

３月定例会前に受理した請願１件の審査結果は次のとおりです。意見書は関係機関へ提出しました。

件　名	提　出　者	審査委員会	委員会結果	本会議での結果と措置
食料安全保障の強化に向けた次期基本計画及び酪肉近の改訂を 求める請願	清水町農民連盟 執行委員長　高田　秀昭	総務産業	採　択	採　択 意見書を提出

一般会計予算に対する質疑

清水町議会
YouTube

３月19日の予算審査特別委員会における質疑の中から費目別にピックアップしています。

※質疑と答弁は要約されています。詳しい内容は YouTube から見ることができます。

民生費

Q これまで敬老会には饅頭を配布しているが、認知症への安心のために自分のことを記録するエンディングノートを配布してはどうか。

A 社会福祉協議会における「終活」事業においてもエンディングノートなども含めて進めているので、今後検討させていただく。

農林業費

Q にんにく肉まつりが開催され、過去にはアスパラまつりも行われたが、地元の野菜などが買える収穫祭のような祭りを開催してはどうか。

A 現在は農協で独自に直売を行っている。町全体で祭りを行うにあたって農協等と協議しなければ開催できない。今後検討したい。

Q ドローンの導入が予算化されているが、今回購入するものはバージョンアップできるのか。また、人がやらなければならないことあると思うが。

A ドローンは老朽化し修繕等の経費が多くなっている牛追いのバイクの代わりとして使うが、５年間以上は使える。最終的に柵に入れることや受精業務は人間の力が必要である。

Q 有害鳥獣駆除について、前年度と同額の予算であるが、検討が必要ではないのか。また、猟友会との協力関係についてどうなっているのか。

A 毎年の予算については猟友会と協議して委託料を決めている。猟友会とは常に良好な関係を築いていると思っている。

土木費

Q 農村部道路の舗装について、除雪などで破損した箇所の修繕について、今後どのようにしていくのか。

A 舗装の劣化については把握しているので、舗装補修計画に基づき、農業サイドと連携し財源を確保しながら修繕を実施していきたい。

教育費

Q 第九継承事業について、どのような事業を行うのか。これまでのせせらぎ合唱団の活動を今後どのように繋げていくのか。

A 学校や合唱サークルにおける第九合唱指導者の報償費を計上しているが、今後の政策予算を計上し、12月に第九演奏会を開催したい。合唱団は解散しておらず、元団員も第九合唱に参加していただく。今後も歴史に配慮して繋げていきたい

Q 清水でも陸稲を植えている農家も出てきている。そういった素材を活かした給食提供の機会があればいいと思うがいかがか。

A 給食センターの性格上一定量で同じ規格の納入が必要となり、また厳しいマニュアルのもとで材料を納入している。今後も地場産品の使用向上に努めていく。